

里山里海いきものサイコロの遊び方

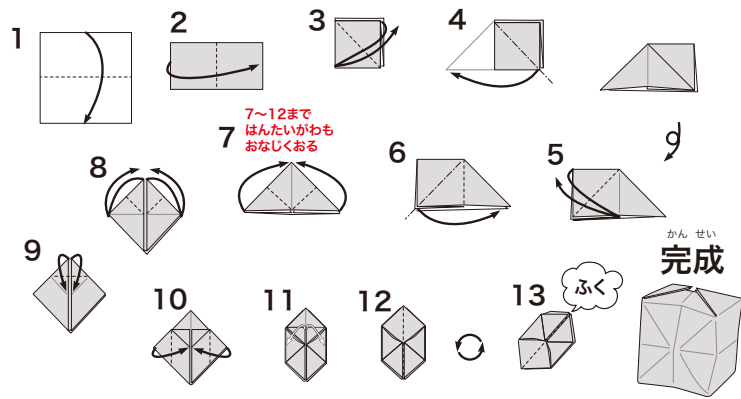
1 生きものに色をぬってみよう。

きみはいくつ生きものを知っているかな？
里山里海には、たくさんの生きものが暮らしています。生きものを観察して色を塗ったり、見つけた生きものを描いたりしてみてね。



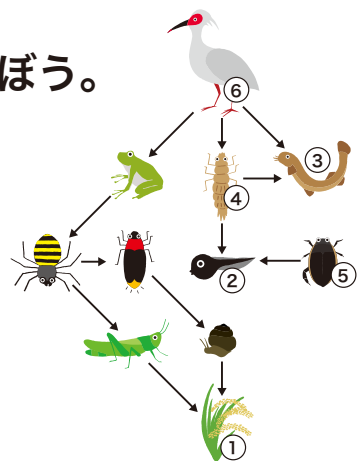
2 折り紙サイコロに挑戦しよう。

季節や場所によって棲んでいる生きものがちがうって知っているかな？サイコロを作りながら話してみよう。里山は、人が森で木を伐ったり、田んぼで米を作ったり、長い間利用し続けて作られてきた自然。生きものたちも、まわりの環境に合わせて生きてきたけれど、人間が里山を利用しなくなって、生きものたちも棲みづらくなっています。



3 友だちとサイコロで遊ぼう。

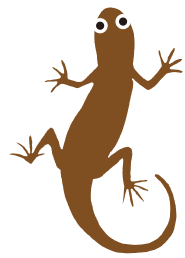
里山の生きものの「食べる、食べられる」の関係が分かるかな？
2人以上でサイコロをふって、対戦してみよう。(数字が大きい方が勝ち)
生きものたちはひとりぼっちじゃ生きていけない。私たち人間もこのつながりの中で暮らしています。



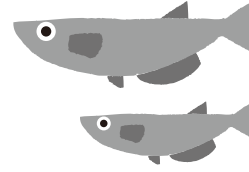
クモ
イネの根元や葉の間など、水田には多くのクモが生息しています。イネの害虫を食べる天敵として大事にされています。



サンショウウオ
成体になると、林の落ち葉の下などにすみ、なかなか見ることはできません。春になると田んぼや水路に卵を産みます。



メダカ
流れのゆるやかな小川や田んぼで群れになって泳ぎます。水路のコンクリート化などで数が減っています。



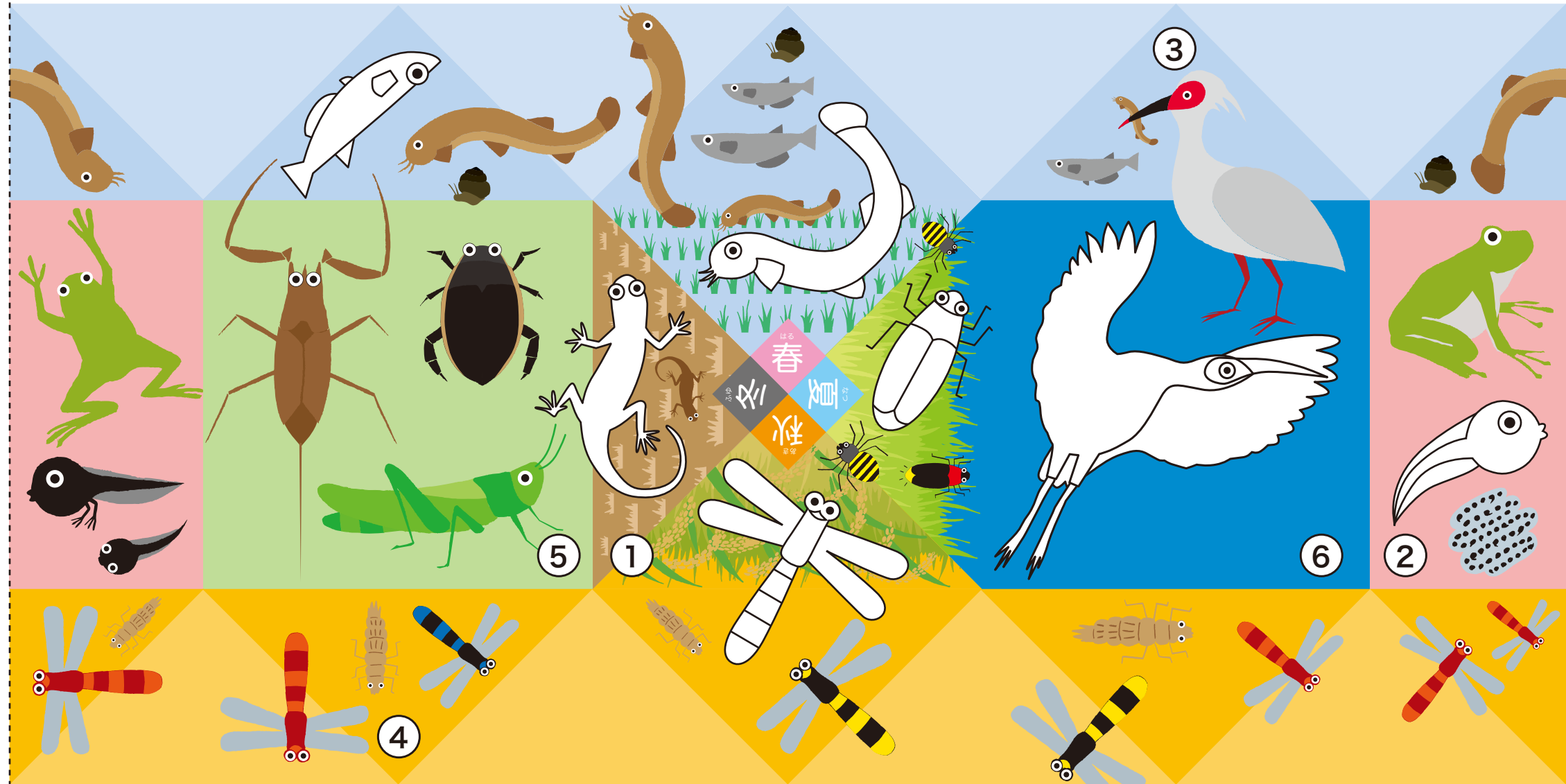
ゲンゴロウ
田んぼには大小、約10種類のゲンゴロウがいます。幼虫・成虫ともに肉食で、水生植物の茎に卵を産みます。



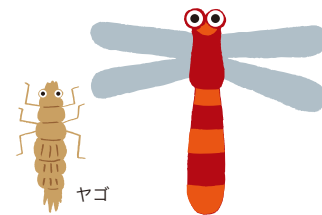
里山里海の生きものたち



いのちのつながりとにぎわいの大切さをみんなに知ってもらいたい！



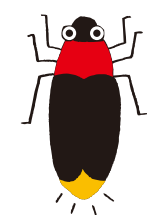
トキ
トキは、田んぼや水路、ため池で餌をとり、人里近くの森や林で巣をつくり、子育てをする「里山の鳥」です。能登は野生のトキの本州最後の生息地でした。全身はほぼ白色ですが、翼や尾羽などの裏側は、朱鷺色と呼ばれる淡橙赤色が特徴です。



トンボ
トンボは卵から幼虫をへて成虫になります。ヤゴは水中で小動物を捕まえて食べ、数ヶ月から、種類によっては数年で羽化してトンボになります。

カエル

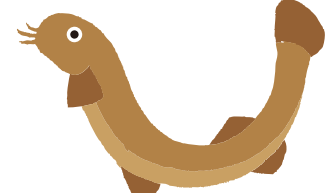
オタマジャクシはカエルの子。田んぼにはいくつかの種類のカエルが卵を産みます。卵の形、卵がある場所、大きさなどを比べてみよう。



ホタル
私たちが目にするホタルはゲンジボタルとヘイケボタルの2種類。ゲンジボタルは餌になる巻貝のカワニナを食べるため流れのある場所に、ヘイケボタルは田んぼや水路などにすんでいます。

ドジョウ

体長は10～15cmで、田んぼや周辺の水路、池などの浅い泥の底にすむ細長い魚です。



いしかわグリーンウェイブ

里山里海って どんなところ？

里山は、田んぼや畑、お小川や水路、ため池、雑木林、森や林、竹林、草地などが広がる地域です。長い間、人が農業や林業などを続けてきたことでできあがった環境です。里海は、人が海からたくさんの恵みを上手にもらいながら暮らしている地域です。里山と里海は、はっきりと分かれているわけではありません。人の暮らしや川の流れなどによってつながっています。石川県では、両方をあわせて里山里海と呼んでいます。



いしかわグリーンウェイブ

～生きもの豊かないしかわの里山里海へ出かけよう～



いしかわグリーンウェイブは、
生きもの豊かな里山里海をみんなで
守る取組です。わたしたちが
できることはたくさんあるよ。



おじいちゃん、おばあちゃんが子どもの時に
どんな生きものがいたか聞いてみよう。



身近な自然(里山林、田んぼ、川など)で生きもの
を探してみよう、記録しよう。



みんなが知ったことを伝えよう、発表しよう。



里山里海の恵みに感謝して、バランスのよい
ごはんを食べよう。

グリーンウェイブとは？

国連が定める「国際生物多様性の日(5月22日)」に、世界各地の子どもたちが学校や地域などで植樹などを行うことで生物多様性について理解を深めてもらう活動です。世界のみんなが、現地時間午前10時に植樹等をする、地球上の東から西へグリーンウェイブ(緑の波)が広がります。

いつから始まったの？ どれぐらいの人が参加しているの？

グリーンウェイブの取組は、日本では2009年にはじまり、2013年には全国で567団体約18,000人、石川県でも31団体2,000人以上のみなさんがグリーンウェイブに参加しました。